

東高野街道 【出屋敷地区】

出屋敷の町並

出屋敷は枚方市内で東高野街道が集落内を通過する唯一の集落で、伝統的な外観を持つ民家が点在しています。街道とともに歴史的な佇まいをうかがうことができます。



穂谷川橋

田中井戸

東高野街道沿いやその周辺には、弘法大師が水を湧き出させたといわれる井戸が多く見られます。この井戸もそのひとつで、弘法大師が杖の先で掘り出したとされています。枚方市内には同様の言い伝えが楠葉村の「弘法井戸」や茄子作村の「清水井戸」にもあります。(私有地内)

交北高等小学校跡

「高等小学校」とは、尋常小学校を卒業した者がさらに高い初等教育を受けるための学校です。交北高等小学校は明治20年に牧野阪の片埜神社境内に開校しましたが、明治21年には牧野阪の清岸寺に、その4ヵ月後には当地に移りました。「交北」とは交野郡北部を略したものです。学校は明治45年に廃校になりましたが、当時使用されていた井戸が今も残っています。(私有地内)

山田池公園

公園の中核をなす山田池は、江戸時代には灌漑用の溜め池として利用され、その大きさは約10ヘクタールもあります。池の周辺には木立や竹林が広がり、サクラ・アジサイ・ハナショウブ・モミジ・ツツジなど四季折々の植物や、カワセミ・アオサギ・メジロなどの野鳥が観察できるなど、憩いの場として親しまれています。また、山田池の水面に映る月は格別な趣があり、「山田池の月」として枚方八景のひとつに選ばれています。

里程標

明治33年3月に建てられた里程標です。「東高野街道 距城河国界 壹里」(約3.9km)「距京都府綴喜郡八幡町 貳里拾貳間」(約7.9km)「距北河内郡星田停車場 壹里廿六丁四十九間」(約6.9km)と記されています。



円通寺

創建時期は明らかではありませんが、延宝3年(1675)には本堂を再興し、浄土宗専念寺末寺円通寺と称しました。本堂の正面には、江戸時代に宇治の黄檗山万福寺を創建した隠元隆琦筆の扁額が掲げられています。かつて境内には、「楠木松」と呼ばれる大きな松がありました。その松の下には、貞和4年(1348)四條畷の戦いで敗死した楠木正行の従兄弟である和田賢秀の胴体が葬られたと伝えられています。



枚方市立総合スポーツセンター

